

コスモエコー 代表者：矢島れい子

| | |
|----------|---|
| 【実施日時】 | 平成20年4月13日(日) 午後2時30分 ~ 午後4時 |
| 【参加者と人数】 | コスモエコー会員と一般 15名 |
| 【講師】 | 山本ロブソン隆(ブラジル) |
| 【活動内容】 | <p>導入として地球温暖化はなぜ起こるかというのを説明したあと、アマゾン流域の伐採開発について液晶プロジェクターを使いながら写真と具体的な数値で説明した。</p> <p>アマゾンの開発は多国籍企業のもとで行われ、日本人には想像もつかない広さと規模である。最近の傾向として、トウモロコシ、サトウキビがバイオ燃料として注目されているが、世界の肺と言われるアマゾン川流域が農地として開発され、バイオ燃料の一大生産地となっているというのは問題である。ブラジルの自動車の特徴であるフレックス車は最近、世界的に注目されているが、これは前から穀物生産の規模、値段の関係でブラジルが開発したもので、ブラジルではすでに定着している。これを見てもわかるように、温暖化の解決も経済性の裏打ちがなく、ポリシーだけでは長続きしないように思われる。この点で日本の温暖化政策には問題があるように思う。</p> |
| 【参加者の感想】 | - |
| 【担当者の感想】 | 天候が悪く参加が悪かったのが残念でした。とても考え方が鋭くとおりのいっぺんの温暖化問題の講演に終わっていないのが素晴らしかった |

